

あたたかいご声援をありがとう

昨今の日本経済の下でギアマガジンは、新しい編集コンセプトで再発刊を余儀なくされました。皆様アンケートでも新しいコンセプトの商品情報誌をというご意見をたくさんいただいております。ギアマガジンが再び店頭に並ぶことをご期待いただき、今号が最終号になります。長い間のご愛読、ありがとうございました。

ギアマガジン 1993年4月号 学習研究社



今月号を持ちまして不定期刊とさせていただきます。



VIVA ROCK 1993年4月号 音楽専科社



●読者の皆さまへ
グランプリスポーツは今号をもって休刊することになりました。
 長い間ご愛読いただき、ありがとうございました。

GP SPORTS FI 1993年1月号 笠倉出版社



読者の皆様へ

THANKS
 『マヤ』はこの2月号を持って
 休刊いたします。
 3年間に渡る読者の皆様のおかげ
 こそ支度心よりお礼申し上げます。
 ビジュアルで、わかりやすい
 オカルト入門書として、『マヤ』は
 可愛がって頂くべく努力してきました。
 しかし、当初の志とは異なり
 読者の皆様のご期待に添えるまでに
 成長するに至りませんでした。
 誠に心苦しく残念ですが
 休刊のやむなきに至りました。
 長い間のご愛読有り難うございました。

学習マヤ編集部

MAYA 1992年2月号 学習研究社

社告

平素は「小児医学」をご購読賜り、厚く御礼申し上げます。
 さて、本誌は創刊以来25年にわたり、小児科領域の総誌誌
 として、小児科・新生児科の医師・研究者に対して最新かつ
 高度の論文を提供してまいりました。編集にあたっては、広
 範な領域のテーマを模索し、常に座右におくべき図書とし
 の性格を堅持してまいりました。

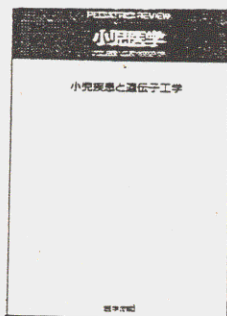
ところが、昨今のこの領域の進歩と情報入手や文献検索な
 どの手段の変貌は、目を眩るものがあります。また、情報の
 提供方法も多岐にわたっています。

このような状況に鑑み、本誌は第25巻第6号をもって最終
 号とし、一旦休刊とさせていただきます。近い将来、新たな
 構想のもとに、斯界に裨益する雑誌を刊行いたしたく考案
 いたしております。

本誌に対する長年のご支援に重ねて厚く御礼申し上げます。

1992年12月

医学書院



小児医学 1992年12月号 医学書院

NESPAご愛読 ありがとうございました。



休刊のお知らせ

東京地方の桜の開花が待たれる、昨年の3月23日、
ニューシングルの人たちが心地よく住まうことをテーマにした
ライフスタイルの提案誌として、「NESPA」が誕生しました。

創刊号を読んでくださった方から、

“本屋さんで見て気に入ったので買ってしまいました、がんばってください”という激賞のハガキから、
“内容をもう少し充実させてください”というお叱りの言葉を、いろいろなご意見を寄せられました。

それ以来、毎月毎月、ハガキが地え続きました。

皆様のおいそぎを込めたハガキは、今でも大切に保管しております。

いつかまた、皆様とお逢いできる日のために、貴重な資料として私たちの財産にさせていただきます。

1年と2か月間の短いおつきあいでしたが、

「NESPA」ご愛読、本当にありがとうございました。

NESPA | 0000010001 | 株式会社



この本、僕はたくさん雑誌を買いました。具体的には言うと、セシル・ビートンのジャケケット、パンツ、ポアシル・ホイイのジャケケット、コート、パンツ、スウェット。何故か、本になると、僕はたくさん雑誌が欲しくなるんだ。それで、本の雑誌が、僕のクロゼットには溢れている。本です。もうひとつ本場のことがありますが、しばらく「ALL」休みます。ちよつと僕は、速くへ行つてこようと思えます。なんだか今、そういう気分なんです。もつというんなことに、勝手にまた新しい気持ちで、「ALL」やりにたいと思つていきます。だから、まづと消っついていってくださいね。最後に、この本を借りて、100名の方にプレゼントをさせていただいたことがあります。これまでにいろいろと「ALL」のわがままを聞いていただいで本当にありがとうございました。そして、また「ALL」のご愛読いいたします。その時、よろしくお願いたします。(尾本)

ALL | 0000010004 | 株式会社

長い間ご愛読ありがとうございました。

編集後記・お知らせ

★昭和五十七年十二月号創刊以来、三年三月にわたつて五九冊してまいりました小誌は、この二月号をもっていったん休刊し、近々誌名・内容を刷新して再発行いたします。長い間ご愛読いただき、まことにありがとうございます。心から御礼申し上げます。ことに、新雑誌へのご支援をよろしくお願い申し上げます。★新雑誌は、新しい読者別の開拓とその開り合いを注めるため、これまでの「壮健ライフ」のイメージ・内容を一新し、誌名も改めて、まったく新しい健康分野に挑戦いたします。どうぞご期待ください。



壮健ライフ 1986年2月号 学習研究社



太郎塾 1986年3月号 マキノ出版

長い間のご愛読ありがとうございました

休刊のご挨拶

小学生の子供をお持ちの父母の方々の雑誌として、日本で初めて創刊した『太郎塾』は、読者の皆様の温かいご支援を得て、昭和五十六年四月号からこの三月号まで、まる五年の間刊行を続けてまいりました。

「子供の教育は、すべて家庭教育を土台にして初めてその成果をあげることができるとはず」と、『太郎塾』創刊号にも掲げてありますように、五年間にわたる『太郎塾』の歩みは、「家庭教育こそ子供の教育の土台」と考えることからはじまりました。そして、子供の豊かな成長を願う父母の方々のご参考に、更にさまざまな角度から教育上の問題を取り上げてまいりました。

これに対して読者の方々、とりわけ、日々子供と接して迷いや悩みを抱き続けているお母さん方からは、数多くの感想、意見、相談をお寄せいただきました。

『太郎塾』には、身近な体験談や

実行しやすい教育の方法がのびるので助かります。『太郎塾』の記事をヒントに、あなたも愛身できるのと子供にいったら、『はくはキン肉マンだ。パクバク』と叫んで、きらいだったニンジンを食べ始めたのは本当に感激しました」

こうした電話やお手紙に接するたびに、私たちはこの雑誌が背負っている使命の重大さを痛感し、身の引き締まる思いを新たにしました。

しかしながら、大勢の方々にご愛読いただきご支持をいただきました『太郎塾』も、営業的にはこれ以上刊行を継続すると無理を生じますので、この三月号をもってひとまず休刊することになりました。

熱心にご愛読くださいました読者の方々、金力をふるってご献金くださいました執筆者の方々をはじめ、関係各位に厚くお礼申し上げます。読者の皆様ありがとうございました。

